

御原小学校だより

児童数 255名

<御原小学校の教育目標> 「志をいただき、人とつながり、未来を拓く子どもの育成」

【合言葉】「つながって、笑顔いっぱい！」

文責：中村 敬子

○宝城中校区実践公開研究会！

小郡市では、中学校区ごとに人権学習を公開して、小中学校の先生方が合同で研修会を行います。今年度の宝城中校区は、御原小学校で12月12日(木)に1年1組、4年2組、6年1組の3クラスの授業を公開しました。子どもたちは、多くの先生方の前で、自分の考えを次々に発表し、友だちの考えから自分の考えを深めていました。その後、宝城中・味坂小の先生方といっしょに、討議の柱「保幼小中15年間で子どもたちに豊かな人権感覚を育てるために」で研修を深めました。



1年1組「さるとかに」



4年2組「いじりといじめ」



6年1組「豊かに生きるために」

参加された先生方の感想を一部紹介します。

- 1つの学校だけでなく、我々教職員・児童生徒・地域全てが一体となって、チームワークを発揮していくことができる環境づくりが大切だなあと感じました。
- クラスの実態に合わせて授業を考えていくことの大切さを改めて感じる事ができました。きつい思いに気づくことの大切さ、おかしさに気づくことの大切さに気づききっかけをつくる授業だと見て思いました。
- 子どもたちが自分の思いを素直に出せる雰囲気が日頃の集団づくりから大切にされてあるのだと思いました。
- 子どもがが将来自立していくためにも、自信が必要だと思います。特別なことではなく、小さな積み重ねが大切。
- 子どもたちの自己肯定感を高めていく第1歩として、しっかり話をする、聞くことをきっかけにしていきたい。学校と家庭が同じ方向で子どもたちを育て支えていきたい。

○12月13日 たてわり集会

今年度2回目の「たてわり集会」が、12月13日(金)に行われました。5・6年生の企画委員会が中心となって、全校児童が楽しめるゲームやクイズを考えました。6年生の日記には、みんなが楽しんでいる姿や夢中になってゲームに参加している姿が見られてうれしかったことや、企画委員が全校のみんなが楽しめるゲームを考えているのが素晴らしいことが書かれていました。冬休み前に、縦割り班で楽しいひと時を過ごしました。



たてわり集会の様子

○12月20日 高松凌雲生誕祭

今から188年前の12月25日、御原校区の古飯で誕生した高松凌雲の生誕祭が、12月20日(金)、御原コミュニティーセンターで行われました。今回は、4年生が参加し、小郡市埋蔵文化財調査センターの坂井 知様の記念講演「高松凌雲と同愛社」を聞きました。子どもたちは、貧しい人にも分け隔てなく医療を行う高松凌雲は、素晴らしいと発表していました。小郡市、御原校区の偉人高松凌雲について、4年生の子どもたちにとっては、貴重な学びになりました。



高松凌雲生誕祭の様子

